

平成27年度下半期指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

施設名	岐阜市少年自然の家	所管課	教育委員会 青少年教育課
所在地	岐阜市山県北野2081番地		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	130,805,485円 ※平成24・25年度 127,172,000円		
施設の設置目的	少年が自然に親しみ、自然の中で集団宿泊生活を通じてその情操や社会性を豊かにし、心身を鍛練し、もって健全な少年の育成を図る		
施設概要	宿泊棟、キャンプ場、多目的室、研修室(4)、音楽室、和室、クラフト室		

●利用状況

	H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期
利用者数(単位:人) 団体数(単位:団体)	11,988 283	18,535 604	11,284 286	18,254 591	10,153 281
開所日数(単位:日)	137	162	136	162	139
団体利用可能日数(単位:日) ※1	133	162	132	162	136
団体利用実績日数(単位:日)	128	162	128	161	131
施設稼働状況(単位:%) ※2	96.2	100.0	97.0	99.4	96.3

※1 【開所日数】-【施設メンテナンス等により利用できない日数】 ※2 【団体利用実績日数】÷【団体利用可能日数】

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市少年自然の家条例施行規則を遵守している。 ②指定管理者仕様書に基づき、適切な人員配置、管理を行っている。 ③ホームページ、パンフレット、チラシ等による広報活動のほか、出前講座、事業協力等を通して、他施設の利用者にも直接呼びかけを行っている。 ④迅速かつ丁寧な対応を行っている。
指定事業自主事業	○受け入れ事業を実施 ○下記主催事業を実施 ①家族のつどい ②子どものつどい ③市民のつどい ○下記自主事業を実施 ①「自然体験ミニイベント」 ※拡大 ②「三輪北文化祭」への事業協力(地元への事業協力)	○受け入れ事業 ※カッコ内は対前年度比 ・251団体8,381人を受け入れ(17団体減40人増) ※12月上旬から3月上旬まで「あじさい広場」(屋根付き広場)の改修工事のため、この施設及び野外炊事場を利用する団体の受け入れを中止 ○主催事業 ※カッコ内は対前年度比 ①4事業7回に154家族520人が参加(6家族減4人増) ②2事業2回に100人が参加(増減なし) ③1事業1回に2,041人参加(262人増) ○自主事業 ①1事業15回に888人が参加(9回390人増) ※昨年度まで実施していた「三輪の里自然散策会」を廃止(1回19人減) ②自然の家コーナーに84人が参加

<p>指定事業 自主事業</p>	<p>○研修・啓発事業を実施</p> <p>①「自然体験活動実技研修会」 ※新規</p> <p>②「ボランティアスタッフ研修会」</p> <p>③出前講座、事業協力の実施</p> <p>④自然情報の発信</p> <p>○研究・開発事業を実施</p>	<p>○研修・啓発事業 ※カッコ内は対前年度比</p> <p>①1事業6回に29人が参加</p> <p>②1事業1回に29人が参加(2人減)</p> <p>③出前講座:16回に587人が参加(8回282人増) 事業協力:10回に2,068人が参加(1回175人増)</p> <p>④下記の取組みを実施 ・「自然の家だより」「季節の散策マップ」の発行 ・岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」への投稿</p> <p>○研究・開発事業 ・ウォークラリー、オリエンテーリングコースの改善 ・各種職員研修の実施 ・周辺の動植物調査及びデータ収集 ・「自己課題」への取組み</p>
<p>施設管理</p>	<p>①日常・定期清掃業務</p> <p>②ハチの巣調査、駆除</p> <p>③空気環境測定</p> <p>④水質検査</p> <p>⑤飲料貯水槽清掃点検</p>	<p>①【日常】開所日は毎日実施 【定期】12月・3月に実施</p> <p>②9月に実施済</p> <p>③11月・2月・3月に実施</p> <p>④2月に実施</p> <p>⑤2月に実施 ※ほか仕様に基づき適正に実施</p> <p>職員による施設点検(整備) 【館内外点検】 ・団体の退所時 ・休所日前、休所日後 【キャンプ場】【散策道】 ・団体の入所前、荒天後</p>
<p>施設修繕</p>	<p>①迅速な修繕の実施</p> <p>②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備の実施</p>	<p>①迅速な修繕の実施例 ・宿泊室の点検で、ベッドのささくれ、きしみを確認 ⇒研磨後、L字金具でベッドを固定 ・キャンプ場の橋の破損を確認 ⇒破損箇所を研磨、補強後、防腐剤を塗布</p> <p>②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備の実施例 ・炊事場のかまど、テーブルの修繕 ・屋外倉庫の修繕 ・キャンプファイヤー場の修繕 ・散策道の整備 ・朽木の伐採</p>
<p>危機管理・ 法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護</p> <p>②非常時の対応策</p> <p>③関係法令の遵守</p>	<p>①下記の取組みを実施 ・個人情報保護体制について、窓口やホームページで公開している。 ・個人情報保護担当者を配置している。 ・「個人情報保護研修会」を実施している。</p> <p>②下記の取組みを実施 ・各種安全マニュアルの見直し、改善を図り、適切にその運用を行っている。 ・ウォークラリー、オリエンテーリングのコース点検、巡回を強化している。 ・消防訓練、防火設備等の管理を適切に行っており、継続して「防火優良認定」を受けている。</p> <p>③下記の取組みを実施 ・岐阜市少年自然の家条例、岐阜市少年自然の家条例施行規則等、関係法令を遵守している。 ・人権に関わる取組みについては、【今期の取組みに対する評価】P6に記載。</p>

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>○受け入れ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「利用者アンケート」…すべての利用団体を対象に実施 <ul style="list-style-type: none"> ・質問内容:「利用全般」「職員の対応」など ・「野外学習アンケート」…利用した小学校(抽出)を対象に実施 <ul style="list-style-type: none"> ・質問内容:自然の家の3つの願いの達成度 ・聞き取りによる調査…各活動に対応した職員が要望等の聞き取りを実施 <p>○主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「参加者アンケート」…すべての主催事業で実施 <ul style="list-style-type: none"> ・質問内容:事業の満足度、自然の家の3つの願いの達成度など ・聞き取りによる調査…各活動に対応した職員が要望等の聞き取りを実施
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○受け入れ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「利用者アンケート」 ※カッコ内は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合 <ul style="list-style-type: none"> ①回収枚数 126枚 ②各項目の満足度・主な意見 <ul style="list-style-type: none"> 【初回利用団体】 14枚 「利用全般」 (92.9%):大変満足85.7% 満足 7.1% 普通 7.1% 不満0.0% 大変不満0.0% 「施設・設備」 (100.0%):大変満足78.6% 満足21.4% 普通 0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 「職員の対応」(100.0%):大変満足92.9% 満足 7.1% 普通 0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 「食堂の食事」 (88.9%):大変満足44.4% 満足44.4% 普通11.1% 不満0.0% 大変不満0.0% 【複数回利用団体】 112枚 「利用全般」 (100.0%):大変満足74.1% 満足25.9% 普通 0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 「施設・設備」 (100.0%):大変満足61.6% 満足38.4% 普通 0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 「職員の対応」(100.0%):大変満足88.3% 満足11.7% 普通 0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 「食堂の食事」 (85.3%):大変満足47.4% 満足37.9% 普通14.7% 不満0.0% 大変不満0.0% <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪天候による急な活動計画の変更にも、職員の方が早く迅速に対応してくれた。 ・自然散策ツアーではクラスごとに趣向を凝らしていただき、大満足でした。 ・オリエンテーリングでポイントを追加する際には、色々なアイデアを提案していただいた。 ・説明が分かりやすく、良い姿は褒めていただいた。 <p>○主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「参加者アンケート」 ※カッコ内は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合 ■ファミリーDAY 秋のピクニック編(対象:家族 半日 11/8) <ul style="list-style-type: none"> ①回収枚数 11枚 ②事業の満足度・主な意見 <ul style="list-style-type: none"> 【初回参加】 7枚 「満足度」(100.0%) 大変満足28.6% 満足71.4% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 【複数回参加】 4枚 「満足度」(100.0%) 大変満足75.0% 満足25.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然にふれあい、色々な楽しみ方があるのだと感じました。 ・あいにくの雨でしたが、雨の散策もとても良かったです。 ■ファミリーDAY スターウォッチング編(対象:家族 半日 1/11・1/16) <ul style="list-style-type: none"> ①アンケート回収枚数 45枚 ②事業満足度・主な意見 <ul style="list-style-type: none"> 【初回参加】 19枚 「満足度」(84.2%) 大変満足47.4% 満足36.8% 普通10.5% 不満0.0% 大変不満5.3% 【複数回参加】 26枚 「満足度」(84.0%) 大変満足64.0% 満足20.0% 普通16.0% 不満0.0% 大変不満0.0% <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に冬の星座について教えていただき、実際に観察した時によく分かりました。 ・大変親切に星の説明をしていただき、有意義な時間となりました。 ■ファミリーステイ I (対象:家族 1泊2日 11/28-29・12/5-6) <ul style="list-style-type: none"> ①アンケート回収枚数 56枚 ②事業満足度・主な意見 <ul style="list-style-type: none"> 【初回参加】 21枚 「満足度」(95.0%) 大変満足60.0% 満足35.0% 普通5.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 【複数回参加】 35枚 「満足度」(100.0%) 大変満足70.6% 満足29.4% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回違った内容で、非常に質の高い企画だと思っています。 ・幅広い年齢層でも楽しめるように工夫されていて、感心しました。

<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>■ ファミリーステイⅡ (対象:家族 1泊2日 2/6-7・2/13-14)</p> <p>①アンケート回収枚数 41枚</p> <p>②事業満足度・主な意見</p> <p>【初回参加】 11枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足54.5% 満足45.5% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>【複数回参加】 30枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足60.0% 満足40.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回も家族みんなで夢中になれるプログラムを、たくさん用意していただいた。 ・レクリエーションで、大勢の人をひっぱり盛り上げているスタッフさんの力量に拍手。 <p>■ 自然は友だちキャンプ 森遊び隊 (対象:子ども 1泊2日 10/24-25)</p> <p>①アンケート回収枚数 56枚</p> <p>②事業満足度・主な意見</p> <p>【初回参加】 32枚</p> <p>「満足度」(93.8%) 大変満足81.3% 満足12.5% 普通6.3% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>【複数回参加】 24枚</p> <p>「満足度」(95.8%) 大変満足91.7% 満足 4.2% 普通4.2% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がやっている時に、アドバイスや手伝ってくれる子がいて本当にうれしかった。 ・知らない子ばかりで最初は不安だったけど、とても楽しかったのでまた来たい。 <p>■ 自然は友だちキャンプ 冬遊び隊 (対象:子ども 1泊2日 1/23-24)</p> <p>①アンケート回収枚数 44枚</p> <p>②事業満足度・主な意見</p> <p>【初回参加】 13枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足100.0% 満足 0.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>【複数回参加】 31枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足 87.1% 満足12.9% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナイトハイクと自然散策が楽しかった。途中の雪合戦も楽しかった。 ・みんなが優しくしてくれたので、輪の中に入りやすかった。
<p>利用者からの要望・苦情と対応・改善</p>	<p>○ 受け入れ事業</p> <p>意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、宿直職員と団体指導者との打合せ等で、施設としての考え方を説明している。</p> <p>利用者全般に関わる内容については、ホームページを活用し、意見等に対する考えや対応について回答している。</p> <p>《主な意見と対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊室のドアの開閉音がうるさい。 ⇒すべての部屋のドアクローザを確認し、注油及びネジの緩みの調整を行っている。 ・屋外で活動したいが、スズメバチが心配だ。 ⇒スズメバチによる事故を未然に防ぐため、下記の対応を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・公園管理者との情報共有 ・散策道の巡回、点検 ・巣を発見した場合は周辺区域の一時閉鎖、巣の撤去 ・「オリエンテーション」や活動時:スズメバチに遭遇した場合の対処方法の説明 <p>○ 主催事業</p> <p>意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、必要に応じて各事業の「終わりの会(全体会)」で、施設としての考え方を説明している。</p> <p>事業全般に関わる内容については、係会、所内経営会議、職員会議を通して検討を重ね、次回事業のよりよい運営に活かしている。</p> <p>《主な意見と対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族で必ず参加できる事業(抽選のない事業)を教えてください。 ⇒定員を設けていないイベント「ファミリーフェア」等を紹介した。 ・土曜授業などの学校行事が1日あり、事業の開始時間に間に合わない。 ⇒活動途中からでも参加できるように、個別に対応した。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

【少年自然の家】

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	I 住民の平等利用が確保されること	(1)『住民の平等利用が確保されること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	①利用調整委員会を開催し、利用調整を行っているか。 ②主催事業において、幅広い市民への参加の機会と周知を図っているか。	SS	SS	SS
		(2)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	障がい者を含め幅広い層の利用を促すため、ソフト面での配慮を推進しているか。	S	S	S
		(3)情報公開、広報の方策	市内小中学校、市内少年団体、当年度利用諸団体に対する次年度への呼びかけ及びホームページ等も含めた紹介・啓発をしているか。	S	S	S
		(4)個人情報保護するための方策	個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	S	S	S
		区分評価				
効果性	II 事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(1)『事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	「岐阜市少年自然の家運営方針」とおり「ほほえみ、なかま、自然」を大切に施設運営をしているか。	SS	S	S
		(2)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	主催事業等の活動プログラムの改善を図っているか。	SS	SS	SS
		(3)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者・団体に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。	S	S	S
		(4)利用者に対するサービス向上の方策	利用団体の活動に対し、可能な限り職員を配置し、適切な指導・援助を行っているか。	SS	SS	SS
		(5)利用促進、利用者増の方策	利用者の少ない冬季を含め、事業の充実等により利用の促進に努めているか。	S	S	S
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	利用団体の活動に合わせ、必要に応じ宿直、夜勤、通常勤務、週休等を割り振り対応しているか。	S	S	S
		区分評価				
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	III 事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	(1)『事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	利用者の安全を第一に考え必要経費に優先順位をつけ、管理的経費の削減に努めているか。	A	A	A
		(2)指定管理経費の設定額	収支予算書との妥当性はどうか。	A	A	A
		(3)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービスを低下することなく、コストの削減に努めているか。	S	S	S
		(4)収支計画の妥当性	削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	S	A	A
		(5)管理経費削減の具体的方策	事業・活動の目的の範囲内で引き続き経費の削減に努めているか。例えば啓発紙等印刷物は可能な限り、電子メール等電子媒体を取り入れているか。	SS	S	S
		(6)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	施設の性質上、不規則勤務にならざるを得ないが、宿直勤務は可能な限り必要最低限とし、無理のない勤務体制としているか。	S	S	S
		区分評価				

安定性 安全性	IV 事業計画書 に沿った管 理を安定し て行う物的 能力、人的 能力を有し ていること	(1)『事業計画書に沿った管理を安定して 行う物的能力、人的能力を有していること』 に対する基本的な考え方(理解度、取組 姿勢など)	職員は行政計画、教育指針等を常に把握して野外活動 に取り組んでいるか。	A	B	A
		(2)当該公の施設に類似あるいは関連する 事業、業務などの実績	類似施設等の管理実績を参考にしているか。	S	S	S
		(3)経営基盤の安定性	公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門 的能力を有しているか。	S	S	S
		(4)組織及びスタッフ(採用予定者も含む) の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知 識など	小・中・高・養護各教諭免許、社会教育・社会福祉各主事 資格、防火管理・危険物取扱各免許など専門知識や経験 が活かされているか。	A	B	A
		(5)スタッフ(採用予定者も含む)の管理、 監督体制	より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務し やすい職場環境ができていますか。	A	B	A
		(6)スタッフ(採用予定者も含む)の人材育 成の方策	経理・文書・施設管理・里山の自然等業務についての基 本知識の他、個人情報保護・安全衛生・救命救急・接遇・ 人権等の研修が行われているか。	A	B	A
		(7)リスクへの対応方策(防止策、非常時 の対応マニュアルなど)及び対応能力(資金 力、損害賠償能力など)	野外活動エリアの安全点検・館内外の巡回・消毒清掃・衛 生指導・避難訓練等を実施しているか。非常時の対応が 確認されているか。	A	B	A
		(8)学校及び教育委員会との連携	学校や教育委員会との連携がなされているか。	A	B	A
	区分評価					A
貢献性	V 事業計画書 の内容が、 岐阜市ある いは施設が ある特定の 地域(以下 「地元」と いう。)の振 興、活性化 などに貢献 できるもの であること	(1)『事業計画書の内容が、岐阜市あるい は施設がある特定の地域(以下、「地元」と いう。)の振興、活性化などに貢献できるも のであること』に対する基本的な考え方(理 解度、取り組み姿勢など)	市の方針に基づいた計画で、地域の振興・活性化に貢献 する計画となっているか。	S	S	S
		(2)地元の法人その他の団体の育成(一部 業務の再委託先)	地元の法人その他の団体との連携に務めるとともに、その 育成に取り組んでいるか。	SS	S	S
		(3)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇 用	施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元 の住民等の雇用に留意しているか。	S	S	S
		(4)地元での資材等の調達	資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意し ているか。	S	S	S
		(5)その他地元への貢献に関すること	地元で実施される社会活動等への、積極的な参加に務め ているか。	SS	SS	SS
	区分評価					S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

(II-(1))

- 受け入れ事業、主催事業において、自然の家の3つの願い「ほほえみ」「なかま」「自然」の達成度を把握するためのアンケート調査を実施した。
- アンケート結果は下記の通りとなっており、各事業、各項目で大変高い達成度を得ることができた。

《アンケート結果》

受け入れ事業:「ほほえみ」94.6% 「なかま」93.0% 「自然」91.0%
 主催事業 :「ほほえみ」92.5% 「なかま」91.3% 「自然」89.7%

《参考》

- 「ほほえみ」(達成感・自己発見等)
自ら考え、工夫して活動をやりきることで、成就感や達成感を味わわせ、自主的・創造的な態度を養う。
- 「なかま」(協調性・社会性・自立性等)
一人ひとりが役割を果たすとともに、規律を守り、互いに協力して活動することで、仲間を思いやる態度を養う。
- 「自然」(感性・感動・畏敬等)
五感を働かせて自然体験活動に取り組むことで、自然に対する興味・関心を高め、自然に親しむ態度を養う。

- 施設の具体的な効用として、下記の内容は特に重要であると捉えており、それぞれの効用を最大限発揮するため、各職員は自然の家周辺の活動エリアでの実地訓練やプログラム開発、動植物調査を長期にわたり継続して行っている。

《特に重要であると捉えている具体的な効用》

- ・周辺の自然環境を活かした体験活動の提供
- ・周辺の活動環境におけるリスクの予見と対応
- ・周辺の自然情報の発信

(III-(4))

- 平成28年度予算の作成にあたり、施設の老朽化に伴う修繕費の増加を抑えるため、修繕用の消耗品を購入し、職員のできる修繕は、できる限り職員で行うこととした。また、重油の高騰が治まったことから、燃料費の削減を検討した。なお、重油の調達においては、市の契約単価に準ずるのではなく、**自分で入札を行い、さらに燃料費の削減を図っている。**

《具体的な経費削減策》 ※カッコ内は対27年度予算比

- ・燃料費:重油単価の下落および入札による削減(1,115,344円 14.2%減)
- ・光熱水料費:シャワーヘッドの改良等による水道代の削減(193,771円 9.0%減)

《具体的な経費増加科目とその理由》 ※カッコ内は対27年度予算比

- ・修繕費:施設老朽化に伴う修繕箇所の増加(270,352円 7.0%増)
- ・消耗品費:修繕用消耗品の増加(100,000円 2.5%増)

- 今期の予算執行にあたっては、(III-(5))に記載した取組みなどにより削減できた経費の活用を十分に検討、研究し、利用者サービスの向上や環境整備の推進につながる比較的大規模な改修を実施することができた。

《実施例》

- ・「屋外クラフト」の柱・鉄骨の塗装(388,800円)
- ・脱衣場のコンセントの増設(264,142円)
- ・本館棟廊下のカーテンの設置(179,280円)

(III-(5))

- 業務要求水準の例に示された電子メール等、電子媒体の活用については、特に「自然の家だより」の発行や「ぎふネイチャーネット」への投稿など、自然情報の発信において、積極的に実践した。

- 比較的大規模な内容も含め、多岐にわたる作業を自前で実施し、大幅に経費を縮減した。

《自前での作業例》

- ・炊事場のかまど、テーブルの修繕
- ・屋外倉庫の修繕
- ・キャンプファイヤー場の修繕
- ・公園内の橋の修繕
- ・宿泊室の網戸の修繕
- ・散策道の整備
- ・朽木の伐採
- ・木材の調達
- ・ハチの巣の駆除
- ・「語らい広場」(屋外広場)の洗浄
- ・教材の準備、加工
- ・パンフレット等の印刷、製本

- 電力供給業者の変更を行うとともに、消灯チェックなどの館内巡回を強化し、電気代を大幅に縮減した。(1,533,218円 12.7%減) ※数値は平成27年度の合計であり、隣接するファミリーパーク体育館との合算

(IV-(1)) ※詳細は別紙①のとおり

- 平成27年4月に行った職員採用面接試験において発生した事案に対し、再発防止策を講じてきた。また、この事例を教訓として、人権課題を幅広く捉え、様々な取組みを主体的かつ積極的に実施し、市民との信頼回復に努めてきた。

《再発防止策》

- 人権啓発多文化共生推進のためのしくみづくり
 - ・人権啓発、多文化共生推進機関との連携の推進
- 人権啓発研修会の充実
 - ・施設長会での人権啓発研修会の開催(今期6回開催 ※昨年度までは年1回)
 - ・外部研修会への積極的な参加
 - ・全役員職員を対象とした人権啓発研修会の開催(今期1回開催)
 - ・各施設での人権啓発研修会の開催(自然の家では今期5回開催)
- 公正な採用選考システムの確立
 - ・公正採用選考ガイドラインの作成

《人権課題への取組みの例》

- ・認知症サポーター講座の受講
- ・耳マーク表示板、筆談用ホワイトボードの設置
- ・車いす体験研修会への参加
- ・ベビーチェア、幼児用便座の設置
- ・ピクトグラムをホームページに掲載

(IV-(4))

- ・職員採用選考を行うにあたり、厚生労働省の「公正な採用選考をめざして」、「採用選考自主点検資料」や当事業団の「公正採用選考ガイドライン」により、公正採用選考を徹底している。
※詳細は別紙①のとおり

- ・小・中・高・養護各教諭免許、社会教育主事資格、防火管理・危険物取扱各免許、オリエンテーリングインストラクター、キャンプインストラクター等の資格を有した職員や5年以上の実務経験者が多数(15名中9名)従事しており、「利用者アンケート」では、職員の専門性を高く評価する意見・感想が大変多く見られた。

- ・積極的に研修(講習)に取組み、下記の資格取得者の増員を図ることができた。

《今期取得した資格》

- ・ネイチャーゲームリーダー
- ・キャンプインストラクター
- ・危険物取扱者
- ・上級救命技能

- ・施設内にとどまらず、出前講座や事業協力、自然情報の発信を通して、職員の専門性を活かす機会を拡大することができた。

- ・施設修繕及び木工備品の製作を行う専門職員が従事しており、扉や網戸の補修、教材の準備、各種看板の設置など、多岐にわたる作業を自前で行った。

(IV-(5))

- ・組織的な対応並びにチェック機能を充実させるため、報告・連絡・相談についての再徹底を図るとともに、職員採用試験の際には、不適切質問をチェックする担当者を配置などの措置を盛り込んだ公正な採用選考システムの確立を図った。 ※詳細は別紙①のとおり

- ・職員が働きやすい職場環境を整えるため、当事業団の策定した行動計画に基づき、下記の目標の達成に努めている。

目標1:女性職員の育児休業取得率80%以上

目標2:育児休業、産前産後休業等、諸制度に関する研修会への積極的な参加

目標3:年次有給休暇取得の推進

- ・1ヶ月単位の変形労働時間制を取り入れ、無理のない勤務体制を編成するとともに、毎週日曜日を「ノー残業デー」とし、職員全員がこれを遵守している。

- ・当事業団はリフレッシュ休暇(心身の健康維持及び家庭生活の充実等のための特別休暇)の取得を推進しており、当施設においても対象となる職員全員がこれを取得している。

(IV-(6))

- ・事業団の実施した人権研修会以外に、施設独自で所長が講師となり、全所員を対象とする人権研修会を期間中5回実施した。また、障がい者差別解消法研修会などの外部研修会に所員を積極的に派遣した。 ※詳細は別紙①のとおり

- ・職員研修については、上半期に個人情報保護・食品衛生・救命救急等、基本的な資質に関わる研修を実施しており、今期は「朝の打合せ会」、職員会議等でその内容を当施設での具体的な事例に照らして、繰り返し確認し合った。

- ・今期は特に職員の企画力・指導力の向上に重点を置き、類似施設での様々な研修に参加するとともに、自主的な「プログラム開発研修」を積極的に実施した。

- ・主催事業を実施する際は、指導方法や安全面等の確認を行うため、すべての事業で事前研修を実施した。なお、泊を伴う事業では、施設ボランティアにも事前研修を義務付けている。

- ・各研修の終了後には、文書だけでなく、報告会を実施し、職員全員で成果の共有を図った。

(IV-(7))

- ・リスク管理能力の向上を図るため、(IV-(6))に記載した着実な取組みを通して、全職員への人権教育を徹底するとともに、(IV-(5))に記載した取組みを実施した。また、問題が起きた場合は、責任者である事業団理事長、少年自然の家所長が先頭に立ち、岐阜市教育委員会と連携を取り、迅速に原因の究明と再発防止に努めることとした。 ※詳細は別紙①のとおり

- ・業務要求水準に記載された内容については、下記の通り実施した。

・野外活動エリアの安全点検:団体の活動前及び大雨、暴風(強風)後

・館内外の巡回:団体の退所時及び休所日前、休所日後

・消毒清掃:例)次亜塩素酸によるドアノブの消毒(週1回)

・衛生指導:各種研修会及び当日の受付、オリエンテーション

・避難訓練:9月(年2回)

- ・消防訓練、防火設備等の管理を長年にわたり適切に行っており、他の模範であるとして、3月に(一財)岐阜県消防設備協会より「感謝状」を授与された。

- ・天候の急変、サル・イノシシの出没情報等に迅速に対応するため、ウォークラリー、オリエンテーリングを実施する際は、活動前の安全点検に加え、活動中の巡回も毎回行った。

- ・安全対策の強化を図るため、安全マニュアル5項目の見直し、改善を図り、適切にその運用を行った。

(IV-(8))

- ・人権に関わる問題などの重要事項について、教育委員会に対しての迅速な報告・連絡・相談を徹底するとともに、教育委員会の指導に対して、迅速かつ適切な受け入れができる組織づくりに努めた。
※詳細は別紙①のとおり

- ・学校及び教育委員会の各代表者が出席する「利用調整委員会」(11月)や「運営審議会」(2月)での意見、要望等を十分に活かして施設運営を行った。

今期の取組み
に対する評価

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の「イングリッシュ・キャンプinGIFU」の実施に向け、教育委員会と連携し、事業運営の在り方を見直した。 ・次年度実施予定の新規事業「ぎふサイエンス・キャンプ」について、教育委員会と連携し、準備を進めた。 ・科学教育の振興を目的に11月に開催された「ぎふサイエンスフェスティバル」には、当事業団も共催しており、当施設は生物分野での出展を行った。 ・利用された小学校を対象に「野外学習アンケート」(事後アンケート)を実施し、その結果をもとに指導・支援の充実を図った。 ・遠足、社会見学、出前講座等を通して、宿泊学習以外でも当施設の活動プログラムや職員の専門性を積極的に活かすことができた。 <p>(V-2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校、市内青少年団体については、当施設での充実した活動を通して、その育成に寄与できるよう、優先的に利用日の調整を図った。 ・市内小学校、市内公共施設(団体)に対して、積極的に出前講座や事業協力を行った。(出前講座16回 事業協力10回) ・当施設のノウハウを他施設(団体)でも幅広く活用していただけるよう、新規事業「自然体験活動実践研修会」(対象:18歳以上の方)を6回実施した。 ・公園全体の利用者拡大に寄与するため、各種研修会や「事前打合せ会」を通して、隣接する体育館、ラグビー・サッカー場、「ミワクル広場」等の効果的な活用方法を呼びかけた。 ・岐阜大学、岐阜女子大学、岐阜聖徳学園大学等、6大学から多くの学生が施設ボランティアとして参加しており、研修会をはじめ、主催事業、団体対応、施設整備等の活動を通して、その育成に取り組んだ。(平成27年度新規登録者数25名 全体登録者数72名) ・体育館、公園管理者との共催で3月に実施したイベント「ファミリーフェア」では、ドリームシアター岐阜、市生涯学習/女性センター等とも連携して事業を行い、各施設(団体)の日頃の活動や取組みを啓発する機会となった。
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>【所管課の意見】</p> <p>○「指定管理者の選定基準に基づく評価」・「指定管理者の取組みに対する自己評価」について</p> <p>(I-4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護規程の制定に加え、「個人情報保護宣言」を制定し、案内を窓口に掲示するとともにホームページに掲載するなど、個人情報に対する職員の意識の向上、また利用者の信頼感、安心感を高めたため「S」評価に上げる。 ⇒上半期の取組みを継続するとともに、個人情報の適切な取扱いについて、職員会議、「朝の打合せ会」等で繰り返し確認し合った。 <p>(III-2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績に応じた妥当な管理経費を設定しており、要求水準内の取組みと考へ「A」評価を維持する。 ⇒業務水準以上の取組みについて、継続して検討、研究を行っている。 <p>(III-4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱費等の抑制を検討、研究している内容が要求水準内の取組みであると考へ「A」評価を維持する。 ⇒【今期の取組みに対する評価】P6に記載した取組みを実施し、成果を挙げた。 <p>(III-5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「利用者のサービスを低下することなく、コストの縮減に努めている」として、施設管理者自らによる軽微な施設修繕を実施したが、経費の縮減に顕著な効果を上げておりとまでは言い難く「S」評価を維持する。 ⇒【今期の取組みに対する評価】P6に記載した取組みを実施し、大幅に経費を縮減した。 <p>(IV-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P3「危機管理・法令遵守」欄に示してあることにより、市民との信頼関係を構築するという運営指針に背くもので、早急な改善及び市の指導を要すると判断されるため、「D」評価に下げる。 ⇒【今期の取組みに対する評価】P6及び別紙①に記載した取組みを通して、市民との信頼関係の構築に努めた。 <p>(IV-4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P3「危機管理・法令遵守」欄に示してあることにより、専門知識が欠如していると考えられ、早急な改善及び市の指導を要すると判断されるため、「D」評価に下げる。 ⇒【今期の取組みに対する評価】P6及び別紙①の取組みを通して、専門知識の習得に努めた。 <p>(IV-5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P3「危機管理・法令遵守」欄に示してあることにより、組織的な対応並びにチェック機能が不十分であったと考えられ、早急な改善及び市の指導を要すると判断されるため、「D」評価に下げる。 ⇒【今期の取組みに対する評価】P7及び別紙①の取組みを通して、組織的な対応並びにチェック機能の充実を図った。 <p>(IV-6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P3「危機管理・法令遵守」欄に示してあることにより、人権研修が不十分もしくは、研修の成果が上がっていなかったことが原因であり、早急な改善及び市の指導を要すると判断されるため、「D」評価に下げる。 ⇒【今期の取組みに対する評価】P7及び別紙①の取組みを通して、人権研修の充実を図った。 <p>(IV-7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P3「危機管理・法令遵守」欄に示してあることにより、リスク管理能力の組織的な未熟さが原因であると考へられ、早急な改善及び市の指導を要すると判断されるため、「D」評価に下げる。 ⇒【今期の取組みに対する評価】P7及び別紙①の取組みを通して、全職員への人権教育を徹底するとともに、職員採用試験の際には、不適切質問をチェックする担当者を配置するなどの措置を盛り込んだ公正な採用選考システムの確立を図った。

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>(IV-8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P3「危機管理・法令遵守」欄に示してあることにより、教育委員会との連携及び教育委員会による指導の受け入れ態勢が不十分であり、早急な改善及び市の指導を要すると判断されるため、「D」評価に下げる。 ⇒【今期の取組みに対する評価】P7及び別紙①に記載した通り、教育委員会に対する迅速な報告・連絡・相談の徹底を図るとともに、教育委員会の指導に対して、迅速かつ適切に受け入れができる組織づくりに努めた。 <p>(V-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会との共同開催による「イングリッシュ・キャンプinGIFU」を開催し、多くの子どもたちに英語並びに自然に親しむ機会を提供したことに加え、高い満足度を得たことを評価し「S」評価に上げる。 ⇒この事業をより充実させるため、成果、課題の把握に努め、次年度の準備を着実に進めた。また、次年度新たに実施される「ぎふサイエンス・キャンプ」の受け入れ準備も市教委と連携を図りながら進めた。 <p>○新規事業の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「イングリッシュ・キャンプinGIFU」を新規に実施し、児童生徒146名とスタッフ60名が参加し94.4%の満足度を得た自主事業は評価できる。 (II-2) (V-1) ⇒この事業をより充実させるため、成果、課題の把握に努め、次年度の準備を着実に進めた。 <p>○今後の方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスの徹底、人権研修の継続的な実施による指定管理者内部のガバナンスの改善を行い、信用の回復に努めることを強く望む。 (IV-1) ⇒【今期の取組みに対する評価】P6及び別紙①の取組みを通して、信用の回復に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業の導入と他団体との調整をバランスよく行い、円滑な受け入れ事業の実施を期待する。 (I-1-①) (II-2) ⇒受け入れ事業に影響がないよう、主催事業、自主企画事業等においては、実施回数の拡大ではなく、内容の充実重点を置き、次年度の計画を行った。また、受け入れ事業が円滑に実施できるよう、年間予約については、小中学校や青少年団体等の代表者を委員とする「利用調整委員会」の承認を受け、利用日を決定した。 <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修について、研修内容や回数等を充実させ、指導力等を向上させ事業運営に活かすことを期待する。 (IV-4) (IV-6) ⇒【今期の取組みに対する評価】P6～P7に記載した通り、指導力・企画力の向上を図るため、類似施設での様々な研修に参加するとともに、自主的な「プログラム開発研修」を積極的に行った。また、専門性に関わる資格取得者の増員を図った。 <p>【指定管理者評価委員会の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員採用に係る一連の問題は大変デリケートで難しい問題である。 ・利用者に対する管理運営は適切に行われており、特に問題はない。 (IV-1) (IV-4) (IV-5) (IV-6) (IV-7) (IV-8) ⇒この問題に対して、【今期の取組みに対する評価】P6～P7及び別紙①の取組みを着実に実施してきた。 ・利用者も増加しており、利用者アンケートにおいても満足度が高く評価できる。 (II-5) ⇒多種多様な方策により、下半期においても設定した目標(12月～2月期間の利用:対前年度比5団体300人増)を上回る結果(12～2月期間の利用:対前年度比8団体901増)となった。また、【利用者アンケートの実施結果】P3～P4に記載した通り、引き続き、高い満足度を維持することができた。
<p>今後の取組み</p>	<p>(II-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ほほえみ、なかま、自然」の3つの願いを大切に施設運営を行うため、ゆとりをもったプログラムづくりを推進する。 ・受け入れ事業及び主催事業における目標:3つの願いの達成度92%以上 <p>(II-5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月下旬から3月上旬期間に多目的ホールの吊り天井工事を行うため、この期間の利用者の減少が予測されるが、活動場所、活動方法の工夫を行いながら、その影響を最小限にとどめる。 <p>(IV-1) (IV-4) (IV-5) (IV-6) (IV-7) (IV-8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発多文化共生推進委員会の設置など、さらに人権課題への取組みを推進する。 <p>(V-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の英語教育に寄与するため、「イングリッシュ・キャンプinGIFU」の充実を図る。 ・市の科学教育に寄与するため、「ぎふサイエンス・キャンプ」の円滑な受け入れを行う。

●所管課の意見

- 「指定管理者の選定基準に基づく評価」・「指定管理者の取り組みに対する自己評価」について
- ・「Ⅰ－(1)・(2)・(3)・(4)、Ⅱ－(2)・(3)・(4)・(5)・(6)、Ⅲ－(1)・(2)・(3)・(6)、Ⅳ－(2)・(3)、Ⅴ－(1)・(3)・(4)・(5)」について、「指定管理者の取り組みに対する自己評価」のとおりとする。
 - ・Ⅱ－(1)について
少年自然の家の運営について、前期と比較し特に際立って向上したと認められないため「S」評価とする。
 - ・Ⅲ－(4)について
検討・研究の内容が際立って大きいとは判断できないため「A」評価とする。
 - ・Ⅲ－(5)について
経費縮減の具体的な方策が非常に際立って大きいとは判断できないため「S」評価とする。
 - ・Ⅳ－(1)について
市民との信頼関係を構築するという側面から、要求水準どおりの業務を履行しているものの実績については挙げがないと判断されるため「B」評価とする。
 - ・Ⅳ－(4)について
専門知識の習得として、要求水準どおりの要求水準どおりの業務を履行しているものの実績については挙げがないと判断されるため「B」評価とする。
 - ・Ⅳ－(5)について
組織的な対応並びにチェック機能について、要求水準どおりの業務を履行しているものの実績については挙げがないと判断されるため「B」評価とする。
 - ・Ⅳ－(6)について
人権研修について、要求水準どおりの業務を履行しているものの実績については挙げがないと判断されるため「B」評価とする。
 - ・Ⅳ－(7)について
リスク管理能力の組織的運営について、要求水準どおりの業務を履行しているものの実績については挙げがないと判断されるため「B」評価とする。
 - ・Ⅳ－(8) について
教育委員会との連携について、要求水準どおりの業務を履行しているものの実績については挙げがないと判断されるため「B」評価とする。
 - ・Ⅴ－(2)について
地元の法人、その他の団体の育成について、非常に際立って大きいとは判断できないため「S」評価とする。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・Ⅳ「安定性・安全性」については、指定管理者の人権に関する取り組みなど評価できるが、今後の対応を見定めてから評価するという所管課の考えも理解でき、評価が難しい。
- ・この施設は児童生徒の利用が多いため、スタッフの採用は慎重にしてほしい。
- ・人の問題は大切であり、自然の中でいろいろなプログラムを実施するには、現場の人間に頼らざるを得ない。今後も評価が上がるような対応をお願いしたい。
- ・評価と共に、市の具体的な意見を指定管理者に示すと今後の取り組みにプラスになるのではないかと。